

はじまりの日本劇映画

映画 meets 歌舞伎

Movie meets Kabuki

サイト開設のお知らせ

平素よりお世話になっております。このたび、国立映画アーカイブは、国立情報学研究所と共同で新たな WEB サイト「はじまりの日本劇映画 映画 meets 歌舞伎」を開設し、2024年3月27日（水）16:00に公開する運びとなりました。当館の所蔵映画コレクションを配信する5つ目のサイトとして、本サイトは日本における劇映画の形成に大きな役割を果たした歌舞伎との関係に焦点を当て、昨年デジタル復元を行った『五郎正宗孝子伝』（1915〔大正4〕年）など、明治から大正にかけて製作された貴重な4作品を全篇公開するとともに、劇界から日本で初めての映画スターとなった「目玉の松ちゃん」こと尾上松之助と、そのライバルであった澤村四郎五郎に関する資料類を紹介いたします。

本サイトでは、以下3つのセクションによる構成から、さまざまなコンテンツをご覧いただけます。

映画をみる

初期の映画会社・天活の旧劇をリードした澤村四郎五郎の出演作『五郎正宗孝子伝』（1915〔大正4〕年）では、当時の上映を再現した声色掛け合い・和洋合奏の音声付きにより、72分のデジタル復元版を全篇公開いたします。尾上松之助による得意の忍術もの『豪傑児雷也』（1921〔大正10〕年）、歌舞伎の人気演目の映画化『旧劇 太功記 十段目 尼ヶ崎の場』（1908〔明治41〕年）『先代萩 御殿の場 義太夫出語』（1915〔大正4〕年）も、併せて公開いたします。



WEB サイトトップイメージ

「映画 meets 歌舞伎」とは

映画と歌舞伎が地続きの関係にあったことを通して、日本映画の形成期を再考するためのガイドとなるテキストを掲載いたします。

資料をみる

当時の映画界を牽引した2大スター、尾上松之助と澤村四郎五郎に関する資料類を紹介いたします。松之助については、2007年に発行したブックレット「尾上松之助—日本最古の映画スター“目玉の松ちゃん”のすべて」所収の講演録、ポスター類、フィルモグラフィーなどを、ネット初公開いたします。四郎五郎については2023年10月に行ったイベントの講演記録を掲載するとともに、写真や新たに作成したフィルモグラフィーを公開いたします。

本サイトを通じて、映画と歌舞伎との深い関係から生まれた日本映画の豊かなエンタテインメントの姿が再発見されることを目指しています。つきましては、記事化をご検討いただけますようよろしくお願いいたします。

サイト名	はじまりの日本劇映画 映画 meets 歌舞伎
URL	https://eigameetskabuki.filmarchives.jp/
制作	国立映画アーカイブ、国立情報学研究所
公開日	2024年3月27日（水）16:00

〈〈公開コンテンツの一部〉〉

公開作品

①『五郎正宗孝子伝 [デジタル復元版、声色掛け合い・和洋合奏入り]』1915 (大正4) 年

刀鍛冶行光の弟子となった五郎の成長を軸に、継子いじめなどの表現や大胆な展開が講談や浪曲で話題を呼んだ物語の映画化、天活旧劇のスター・澤村四郎五郎が出演する数少ない現存作品の1本。2023年に国立映画アーカイブで行った声色掛け合い・和洋合奏による特別上映での音声を収録したデジタル復元版を公開する。



①



*

②『豪傑児雷也』1921 (大正10) 年

日本映画における最初のスター、尾上松之助主演の忍術もの。颯爽とした立ち会い、トリック撮影を駆使した映像、蝦蟇を操る児雷也となめくじに変化した許嫁が大蛇と争うクライマックスなど、見どころ満載。



②

③『旧劇 太功記十段目 尼ヶ崎の場』1908 (明治41) 年

太閤記を浄瑠璃や歌舞伎に劇化した「絵本太功記」でも人気演目の十段目を映画化。女役者・中村歌扇とその一座が、秀吉と誤って母を刺した光秀を巡る場面を演じている。



③

④『先代萩 御殿の場 義太夫出語』1915 (大正4) 年

伊達騒動を題材とした「伽羅先代萩」の御殿の場を映画化。若君毒殺の企みの身代わりとなった子の母・政岡を、中村歌扇が演じている。



④

公開資料

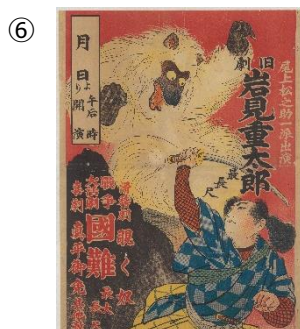
⑤名ひろめ記念大興行 澤村四郎五郎『忍術三勇士』(1916年、天活東京)

⑥尾上松之助出演『岩見重太郎』(1917年、日活京都)ポスター

⑦尾上松之助ポートレート

⑧澤村四郎五郎ポートレート (中央。作品名は不詳)

*『五郎正宗孝子伝』[デジタル復元版] 声色掛け合い・和洋合奏特別上映に出演した弁士・楽士のみなさん (左から、多田恵子、湯浅ジョウイチ、片岡一郎、澤登翠、樗澤賢一、鈴木真紀子、藤高りえ子)



【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「はじまりの日本劇映画 映画 meets 歌舞伎」広報担当

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830

E-mail：emk@nfaj.go.jp